

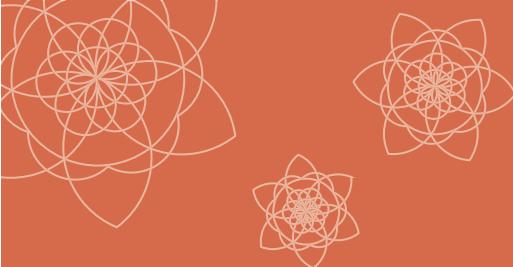
# Living the Lotus



4  
2022

VOL. 199

*Buddhism in Everyday Life*



立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家佛教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は佛教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

**Living the Lotus  
2022年4月号 (Vol. 199)**

【発行】立正佼成会 国際伝道部  
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F  
Tel: 03-5341-1124  
Fax: 03-5341-1224  
E-mail: living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp  
編集責任者: 赤川恵一  
編集チーフ: ジグジドホロル・ゲレルトヤー  
校閲者: 小坂和正、菊池克之  
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ



開祖隨感

## 仏さまに對面する人

お釈迦さまは、遠い土地からはるばる旅をして師を押しにきたお弟子さんや信者の人たちを迎えると、「道中、難儀はなかったろうか。食べ物に困りはしなかったろうか。仲間はみな変わりはないかね」と、必ずお尋ねになりました。

あるとき到着したお弟子の一団に、お釈迦さまがいつものように「みんな元気だっただろうか」と尋ねられると、一行の中の一人が、「じつは仲間の一人が病に臥せってしまったのですが、世尊を押したい一心で残してまいりました」とお答えしました。するとお釈迦さまは、「私に会いにきてくれるよりも、残って病氣の友を看病してくれる人こそ、千里離れていようと私と対面しているのだよ」とお諭しになられたのでした。

私の姿かたちを見にくるよりも、私の願いをしっかり自分のものにする者こそが、私の本当の弟子なのだ、とお釈迦さまは教えられたわけです。

私たちが仏さまを押しるのは、そのみ心に近づきたいと願うことです。一人でも病み苦しむ人がいたら、看取り、助けずにいられないのが、仏さまのみ心です。私たちも、なによりもまず苦しみ悩む人を救うことを先にしなければなりません。

(『開祖隨感』10, P. 222-223)

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

# 各自の感謝のしるし——持戒

## 立正佼成会会长 庭野日鑛



### 「おかげさま」への感謝が基本

いつも申しあげることですが、私たちは生まれたときからずっと、あらゆるものごとの「おかげさま」によって生かされています。ところが、日常そのことに感謝してすごしているかというと、胸を張って「はい」といえる人は少ないかもしれません。天気に文句をいい、家族にさえ、「ありがとう」のひとことがいえないという人もいそうです。

六波羅蜜に、菩薩の実践徳目の一つとして「持戒」が教えられています。「戒めを持つ」と書きますが、原語の「シーラ」の意味は、「良い習慣を身につける」ということです。「してはいけないこと」という抑制的な印象のある「持戒」ですが、ほんとうは自他ともに幸せになることを願う菩薩の実践にふさわしい積極的な意味があるのです。

そこには、先に述べた「あらゆるものごとの『おかげさま』によって生かされている」という仏の教えの根本が、大きくかかわっています。自分を生かしてくれているすべてのものごとに感謝し、それゆえみんなが楽しく、幸せに生きられるようにつとめる——それが仏の願いであり、菩薩のめざすところですが、その「おかげさま」に対する感謝のしるしとして私たちにできることは、せめて自分がいまいる場所で、周囲に安らぎを与えることです。どこにおいても、本来は全体が調和しているのが自然の摂理にかなうことですから、みんなが和やかに楽しくすごせるような習慣を身につけて実践することは、自分を生かすものすべてに感謝の気持ちをあらわす、「持戒」という菩薩行なのです。

在家仏教徒の戒めには、不殺生、不偷盜、不邪淫、不妄語、不飲酒の五戒がありますが、その観点で見ると、五戒はいずれもまわりに迷惑をかけたり、人を傷つけたり

しないための助言です。あらゆる命を尊び、生かし、家族や友人・知人と仲よくして、みんなが楽しく生きる——それが、自分にとっても、いちばんの喜びなのではないでしょうか。

## めいめいが「自分の持戒」を

ロボット工学の権威で、仏教にも造詣の深い森政弘先生は、一人ひとり顔が違うように「くせや持ち合わせておられる弱点もことなるであろうから、戒も各人それぞれに違ったものになるはず」とおっしゃっています。つまり、自分だけの、いわばオーダーメイドの「よい習慣＝持戒」を見つけて実践することが大事だということでしょう。

そこで、五戒を含めていまの自分に必要だと思う習慣を考えてみましょう。たとえば、  
ちごく 遅刻が多くて人に迷惑をかけがちな人は、つねづね「約束の五分でも十分でも先に着くように」と口にしておられた開祖さまの習慣が参考になるかもしれません。また、つい短気を起こしてしまう人は、その瞬間に「おんにこにこ はらたつまいぞや そわか」の  
しんごん とな 真言を唱えてひと呼吸入れる習慣が、まわりを不快にしないことに役立つのではないかと私は思っています。

もちろん、人それぞれに異なるこうした「持戒」は、見方によっては生活規範やマナーともいえますが、単なるマナーと違うのは、実践する一人ひとりの心に「おかげさま」への感謝と、みんな仲よく幸せにという祈りや願いがあることです。周囲に調和をもたらすその利他の心が、自分も喜びを味わう自利へと結ばれる菩薩の精進となるのです。

雪国では、春は木の根元からやってくるといわれます。周囲のどこよりも先に樹木の根元の雪が解けはじめる様子を「雪根開き」といいます。たしかに、開祖さまのふるさと菅沼の春を思い返すと、一面の残雪のなか、根元の土をまるくのぞかせた鎮守さまの桜が明るく咲き初める、のどかな記憶にたどりつけます。

私たちも神仏のはからいに感謝し、自然の摂理に沿った処し方を身につけて、和やかな日々を送りたいものです。

(『校成』2022年4月号)

# Spiritual Journey

## 私の人生を変えた「まず人さま」の教え

プノンペン法座  
チャムナブ・ヴン

私はカンボジアのプノンペン法座に所属するチャムナブ・ヴンと申します。

父チア・サヴン、母ポック・ジョウムの次男として、1986年7月26日、カンボジアの首都プノンペンから約300キロ離れた西部バッタンバン州で生まれました。兄と妹がそれぞれ一人います。

私は学林の海外修養科で学ばせていただき、2014年3月に卒林しました。その後、カンボジアに戻り、現在はプノンペンにある日系の不動産会社に勤務しております。日本人社長を補佐して、通訳をはじめ、労務管理、財務管理、資材調達など、会社の業務全般を担当させていただいている。日本語のできるスタッフは私一人なので、社長からさまざまな仕事を任せ、忙しいですがとても楽しく仕事をさせていただいている。

私が立正佼成会との縁をいただいたのは、2009年でした。当時、私はプノンペン近くのお寺で僧侶として修行していましたが、先輩僧侶であるソク・ダリンさん（現在は還俗）に誘われ、立正佼成会のミーティングに参加させていただいたのがきっかけです。

そのミーティングでは、本部職員で、年に数回カンボジアに布教に来られていた梅津礼司さん（当時、教学委員）が、私たちが幸せになる道についてお話をしてくださいっていたのですが、そこで教えていただいた「まず人さま」という言葉に、とても大きな衝撃を受けたのです。

ご存じの人も多いかと思いますが、カンボジアは1970年から1993年まで激しい内戦を経験しました。長い間、人々の暮らしが戦争によって翻弄されたため、いつのまにかカンボジアの人たちは、他人に構わ

ず、自分が生き延びていくことだけに専念するようになっていました。

他人の心配をしていたら、とても生き抜いていけない。そんな教訓が心に染みついていたために、「自分が幸せになるには、『まず人さま』という気持ちが大切」という梅津さんのアドバイスが、私にはとても新鮮に感じられたのです。

この体験以降、梅津さんがカンボジアを訪れるたびに、仏さまの教えを具体的に実践している立正佼成会の修行について、学ばせていただきました。そうしたなかで、日本に行き学林の海外修養科で学ぶ機会をいただいたのです。

実は、私は父との関係がよくありませんでした。カンボジア内戦中、父は兵士として徴用され、私たち家族のもとから連れ去られてしまいました。内戦が終わってからも長い間、家に戻って来なかったため、私たち家族は、父はすでに亡くなったものと思っていました。ところがある日突然、父が帰ってきたのです。私たちはとても嬉しく



チャムナブ・ヴンさん  
(プノンペン中心部の分譲マンションの建設現場にて)

# Spiritual Journey

思いましたが、父は内戦のつらい記憶があるためか、家の中でも私たち家族と距離を置き、会話もあまりしませんでした。そのため、父と再会できた私たちの喜びは、しだいに父への不満に変わっていきました。

内戦が終ったあとも、私たちの生活は困窮しました。13歳の時、私は学業を続けるために、プロンペン近くのお寺で出家し、そこで生活しながら学校に通うことになりました。僧侶になれば、公立学校の学費は免除されますし、また信徒さんからのお布施で、なんとか生活もできたからです。

しかし、学用品などは自分で購入しなければならず、どうしても、いくらかの現金は必要でした。でも父が送金してくれたのは、年間で25ドル。それだけではとても足りず、現金がないときは、学校を休まざるを得ませんでした。それだけでも父に対して不満が募っていたのですが、あるとき、私が修行しているお寺のすぐそばに住んでいた親戚から、父が2週間前からプロンペンに来ているという話を聞いて、私の怒りは頂点に達しました。そんなに近くまで来ているというのに、父からはまったく連絡がないのです。私が親戚に、「私が会いたいと言っていると、父に伝えて欲しい」とお願いすると、ようやく父がやってきました。

私は父に、こんなに近くまで来ているのに、どうして会いにきてくれなかったのか聞きました。しかし父は、それにまったく答えてくれません。私は腹がたつやら、悲しいやら、寂しいやら、複雑な気持ちになり、「もう私のことに関心がないのなら、どうぞ縁を切ってください」と、父に怒りをぶつけました。

その後、バッタンバン州に戻る用事があったのですが、私は父と顔をあわせたくなかったため実家には戻らず、近くのお寺に泊めてもらいました。もう、父とは縁が切れたものと考えていました。

それほど父のことを嫌っていた私ですが、「まず人さま」という開祖さまの教えに触れ、また学林で親孝行や先祖供養の大切さについて教えていただくたびに、なぜかいつも心に浮かぶのは父の姿でした。

2013年、学林で修行させていただくために日本に行き、学林のある東京の青梅市であらたな生活を始めました。日本に着いてからの最初の印象は、日本はなんてきれいな国なんだろう、ということです。通りにはゴミがほとんど落ちていませんし、寮のそばを流れている川も汚れておらず、とても透き通っています。その環境のなかで、文化の異なる人たちと一緒に寮生活を過ごし、お当番などのお役を通じてお互いに助け合う生活が始まりました。そこには「まず人さま」の世界がありました。そして私は、多くの人が「まず人さま」の教えを実践すると、こんなにもすばらしい世界が目の前に現れることに気がついたのです。

学林で修行させていただいたうちに、私はそれまでの自己中心的な態度を反省するようになりました。そして、父と仲直りしなければいけないという思いを強くしました。そう気づくと、毎日のように父のことばかり考えてしまします。そのため、ある日勇気をだして、日本から父に電話をさせていただいたのです。

私は父に「生活は困っていないですか？ 体は大丈夫ですか？」と話しかけました。すると父が嬉しそうに「元気だよ」と返事をする声が聞こえました。そして父から、「元気に勉強しているか？ 日本で生活していて、なにか問題はないか？」と聞かれました。私は「大丈夫、何も問題ないよ。心配してくれてありがとう」と答えました。とてもシンプルな会話でしたが、私はとても嬉しく、心が晴れやかになりました。

卒林後カンボジアに帰国してから、私はあらためて、父に感謝の気持ちを伝えさせていただきました。父と仲

# Spiritual Journey

直りできたことは、私にとって大きな功德となっています。2021年、父は余生を平穏におくるため、出家して僧侶になりました。私が僧侶だったときに父が生活費を送ってくれたように、今は私が、出家している父のために、毎月の仕送りをさせていただいております。

佼成会との縁をいただいたときにはじめて学んだ、「まず人さま」という開祖さまの教え。「初隨喜」という言葉がありますが、私の心に最初に刻みこまれたこの教えは、今でも私の人生の大切な指針になっています。私は2018年、職場で出会った妻と結婚し、長女に恵まれました。

そして今、私は家庭の中でも「まず人さま」の教えを実践し、妻や娘との関係を大切にしています。具体的には、会長先生のご指導を実践すべく、「ハイ」と明るく返事をしたり、妻や娘にも丁寧な言葉遣いをすることを心がけています。それでも時々、妻との会話の中で「ハイ」ではなく、「ウン、ウン」というような返事をしてしまいます。すると、娘が「お父さん、お返事は『ウン』じゃなくて、『ハイ』でしょう？」と、私を導いてくれるのです。最初は、妻や娘に「まず人さま」の教えをお伝えしたいと思って始めた実践行ですが、最近は逆に妻と娘から、「まず人さま」の大切さを思い出させていただくようになりました。ほんとうにありがたいことです。

冒頭にお話したように、私は今、日系の不動産会社で働いています。忙しい毎日ではありますが、気持ちは充実しており、またおかげさまで十分な給与もいただいている。私は生活を質素に保つよう心掛け、給与の一部を、バッタンバン州にある実家周辺の休眠地の購入に使わせていただいている。おかげさまで、今では広大な土地を所有するに至り、その土地を農場にしたことで、おおぜいの人たちが従業員として働いてくださっています。私も収穫の時期などには勤務先の社

長からお休みをいただきて、できるだけ農場を訪れ、従業員の人たちと一緒に汗をかくようにしています。この農地をさらに広げ、地元の人の雇用をたくさん生み出し、自立かつ安定した生活を送っていただけるように心がけていきたいと思います。そしてゆくゆくは、この農場内に学校を建設し、従業員の子どもたちが世界に通用する十分な教育を受け、カンボジアの人びとの幸せのために活躍してくれる人材に育っていただけるよう、精進を続けていきたいと思います。

私の人生を大きく変えてくれた「まず人さま」の教え。この教えを私たちに遺してくださった開祖さまに感謝の真心を捧げさせていただきます。



僧侶になられたお父様と(バッタンバン州のご実家にて)

# まんが 立正佼成会入門

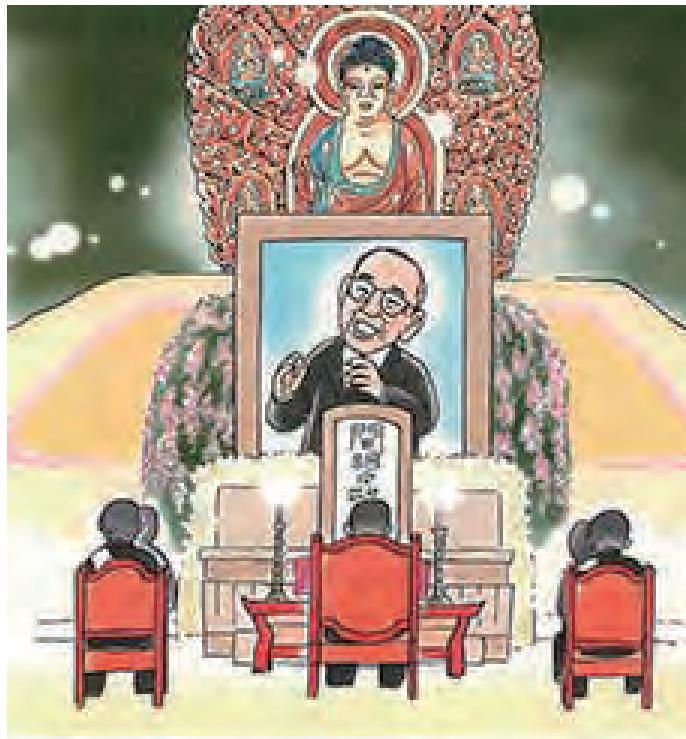
## 開祖さまの生涯と立正佼成会の歴史

### 開祖さまの入寂

立正佼成会の創立者であり、世界平和の実現に生涯をささげた開祖さまは1999年10月4日、亡くなりました。満92歳でした。

葬儀には会員をはじめ、宗教界、政界、財界などから6万人が参列。開祖さまの業績をたたえ、冥福を祈りました。

会長先生は「歎徳文」で、師であり父である開祖さまの思い出を切々と語り、深い感謝といっそうの精進を表明しました。



#### 豆知識

10月10日、大聖堂での開祖葬「葬儀・告別式」には、渡邊恵進・天台座主や石原慎太郎・明るい社会づくり運動全国協議会会長、白柳誠一・世界宗教者平和会議日本委員会理事長らも弔問におとずれた（肩書は当時）。

『まんが立正佼成会入門』は、佼成ショップにて好評発売中です。  
<https://www.koseishop.com/>

## 会長先生



会長先生は会員の幸せ、世界平和実現のため  
にいそがしい日々を送っています。

大聖堂での式典で会員に法話を述べたり、全国  
の各教会へも「ご巡教」を行なったり、道場の入仏  
落慶式に出席したりしています。

また、他教団を訪問して平和について話し合っ  
ています。そして、国連の会議で議長をつとめたり、  
世界の宗教者との会議に出席するなど、世界平和  
の実現にむけて活躍しています。

やさしい人柄、法を求める真剣なすがたは、会員  
たちから尊敬を集めています。



### 豆知識

会長先生は、世界宗教者平和会議日本委員  
会会長・同国際委員会名誉会長、アジア宗教者  
平和会議共同会長、新日本宗教団体連合会顧  
問、庭野平和財団名誉会長などの要職に就い  
ている(2022年現在)。

# Director's Column

感謝のしるし

国際伝道部長

赤川恵一

今月のご法話では六波羅蜜の二番目「持戒」が取り上げられています。

「持戒」の原語「シーラ」は「良い習慣を身につける」ことであり、菩薩の実践行として積極的な意味が込められているとご教示いただき、これまで抱いていた「持戒」の「してはならないこと」という厳格で抑制的な印象を改めることができました。

これは仏・菩薩の願いとするところに沿って、自分を生かしてくれるあらゆるものとの「おかげさま」に感謝し、周囲に安らぎを与えることが自然の撰理に沿うことであり、家族や友人・知人と仲良く楽しくすごせるような習慣を身につけて実践することが「持戒」という菩薩行に他ならないということあります。「持戒」という菩薩行に明るく前向きに取り組めそうです。

今月はご法話をとおし、自分にとっての良い習慣とは何だらうと改めて考え方を巡らせてみるよい機会をいただきました。「長く厳しい冬を乗り越えた後に吹いてくる春風のような心地よさで、円満な人間関係を築いていこう」そんな目標がピッタリきそうです。

さて、皆さんにとってのオーダーメイドの「持戒」は何でしょうか？

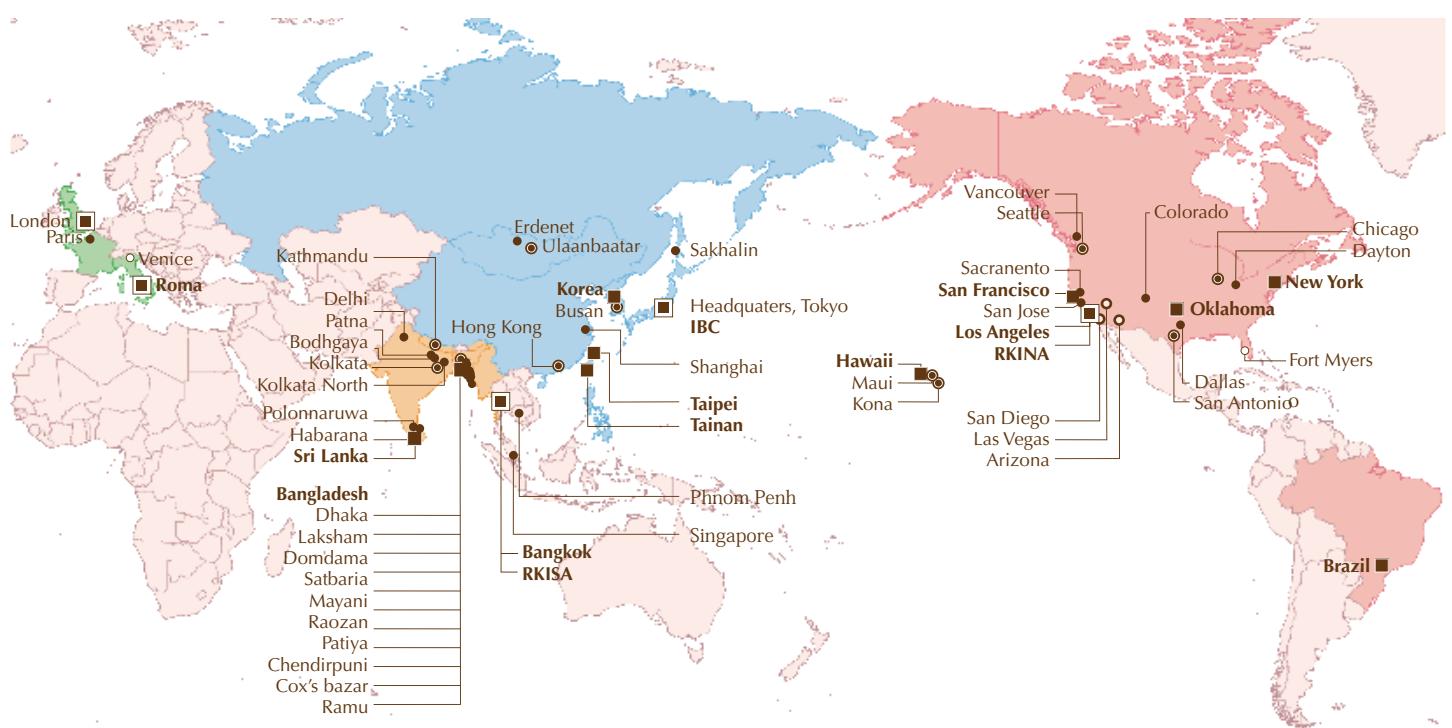


Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1809 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**  
**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

(Address) 1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
(Mail) POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
TEL: 1-650-359-6951 Email: lotusbuddhist@gmail.com  
URL: <https://sf-buddhism.org/>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

**Rissho Kosei-kai of Sacramento**  
**Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
TEL: 1-773-842-5654  
Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

(Address) 2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
(Mail) POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567  
Email: info@rkina.org  
URL: <https://www.buddhistcenter-rkina.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio**  
(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
(Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA  
TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745  
Email: dharmasanantonio@gmail.com  
URL: <http://rksabuddhistcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com  
URL: <http://buddhisticlearningcenter.org>

## Risho Kossei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefano 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

**在家佛教韓國立正佼成會 Korean Rissho Kosei-kai**  
〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部 Korean Rissho Kosei-kai of Busan**  
〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Taipei**  
台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**台南市在家佛教立正佼成會 Rissho Kosei-kai of Tainan**  
台灣台南市東區崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koscikaitainan@gmail.com

**Rissho Kosei-kai South Asia Division**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**  
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai Society of Kolkata**  
89 Srirampur Road (VIP), Garia, Kolkata 700084, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**  
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**  
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rampur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**  
Please contact Rissho Kosei-kai Society of Kolkata

**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**  
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Singapore**  
Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**  
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Bangkok**  
Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei Dhamma Foundation**  
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**  
Please contact Rissho Kosei Dhamma Foundation

**Rissho Kosei-kai Bangladesh**  
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL: 880-2-41360470

**Rissho Kosei-kai Mayani**  
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Damdama**  
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Satbaria**  
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Chendhirpuni**  
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Raozan**  
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Laksham**  
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Dhaka North**  
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar**  
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Patiya**

**Rissho Kosei-kai Ramu**

**Rissho Kosei-kai Aburkhil**

**Buddiyskiy khram "Lotos"**

4 Gruziinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia  
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Erdenet**

Please contact Rissho Kosei-kai International

**Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome

**Rissho Kosei-kai of Paris**

**Rissho Kosei-kai of Venezia**

**Rissho Kosei-kai of the UK**

29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK  
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org  
Facebook: https://www.facebook.com/rkuk.official  
Twitter: https://twitter.com/rkuk\_official  
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk\_official

**Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC )**

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org